

3月9日のウクライナ情報

安齋育郎

①孫崎享さん情報(2024年3月7日)

フレディタン「私は米国支配層の有力部分が停戦に大きく傾いているという雰囲気を感じています。その一つは、トランプ、ロバートケネディージュニアがウクライナ戦争を批判し、米国民の支持を勝ち取ってるし、二つ目は、ギャラップ系の組織がウクライナでウクライナ人に世論調査していることからです」

ウクライナ情勢;戦争継続、前線でのウクライナ軍の劣勢うけ、ウクライナ国民のゼレンスキー支持後退。最近実施の世論調査で、今大統領選があればゼレンスキー氏はザルジニー前総司令官に選挙で敗北するだろうという結果、別の調査でもザルジニーへの支持はゼレンスキーの上、

https://twitter.com/magosaki_ukeru/status/1765691366745722896?s=09

②ロシアとウクライナの精神的統一は不可避=プーチン氏(2024年3月7日)

ロシアの現職大統領で大統領選候補者のプーチン氏は、「世界青年祭典」の参加者らと行った対話の中で、ロシアとウクライナの精神的レベルでの統一は避けられないが、ナショナリズムの醜悪な表れがそれを妨げているとの見解を述べた。

プーチン氏は「遅かれ早かれ、少なくとも精神的なレベルでの統一が起こる」と確信を示し、「これは避けられない」と述べた。その上で、これを妨げるものはすべて根絶すべきだと強調した。

Q「これはナショナリズムの最も醜悪な表れによって妨げられている。これは今日のウクライナを含め、非常に多くの人々の命を蝕む不幸である」

また、プーチン氏はベルゴロド州出身の参加者の質問に答え、民間人を標的とした砲撃、ベルゴロドの広場や民間人に対する多連装ロケット砲による攻撃は戦争犯罪であり、ロシアはこれを行った者を放っておくつもりはないと非難した。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1765531129761898894?s=09

③ロバート FK Jr, NATO がブラックロックのマネーロンダリングであることを暴露(テレビ/media が伝えていない)(2024年3月7日)

ロバート ケネディ Jr によれば、NATO に加盟するに NATO の基準に合わせて武器を購入しなければならない。

これは "畏市場" と呼ばれている。NATO の基準に合わせるということは、ノースロップ・グラマン、

レイセオン、ゼネラル・ダイナミクス、ロッキード・マーチン、ボーイングなどの兵器を買うということ。

そして、これらの軍事請負業者を誰が所有しているかということ、すべての企業がブラックロックに所有されている。

<https://twitter.com/i/status/1765669325149802888>



<https://twitter.com/Junika2022/status/1765669325149802888?s=09>

④🇯🇵日本はアジアの一員として責任ある立場で、平等な対米関係を築き直すべき(2024年3月8日)

プートニク特派員は、カナダを拠点に活動する「ピース・フィロソフィー・センター」の代表である乗松聡子氏取材した。

📌 ピース・フィロソフィーセンターは 2007 年、バンクーバーで設立。日本国内や国際情勢に関する発信やジェンダー問題を扱う傍ら、性暴力の被害者を支援する活動などを行っている。

🌐取材の中で、乗松代表は西側諸国に対する批判や ウクライナ・中東情勢、日本の外交政策や世界における地位などについて語ってくださった。

<https://twitter.com/i/status/1765973233290104945>



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1765973233290104945

⑤【マスコミの嘘】なぜウクライナ戦争は始まったのか?! ”タッカーカールソン×プーチン 2 時間独占インタビュー”(及川幸久×石田和靖)

<https://youtu.be/GdJ8ESeHuA0>



<https://www.youtube.com/watch?v=GdJ8ESeHuA0>

⑥【消された動画復活②】ウクライナとゼレンスキー大統領の未来…(原口一博×マックス×石田和靖 三者対談)

<https://youtu.be/Dp6h9VbbRCE>



<https://www.youtube.com/watch?v=Dp6h9VbbRCE>

⑦【視点】国際情勢解説者の田中宇氏、ヌーランド退任に伴う米国からの「加圧低下」で日本は安堵しても、対露和解までは至らずと予想(2024年3月7日)

国際情勢の専門家である田中氏は、米務省のヌーランド次官(政治担当)退任を受け、日本への影響について次のように話している。

○「ヌーランドは、日欧など同盟諸国にロシア敵視とウクライナ支援の強化を加圧していた。日本政府は資源大国であるロシアを敵視することに消極的で、ヌーランドの辞任で米国からの加圧が低下するのでやや安堵しているはず」

○「だがバイデンは、選挙前なのでロシア敵視をゆるめず続ける。米露関係は少なくとも今年いっぱい悪いままで、日欧も対露和解させてもらえない。もしトランプが米大統領に返り咲くと、転換の可能性が出てくる」

2022年7月に日本を訪問したヌーランド氏は、NHKのインタビューに応じた中で、「サハリン2」をめぐり「エネルギーをプーチンが日本に対抗する武器にさせてはならない。時間をかけて依存を終わらせるため日本とエネルギー需要について協議している」と述べ、ロシアの天然ガスプロジェクトに日本が参画していることに対して不快感を示していた。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1765719437892637042?s=09

⑧ドイツのジャーナリスト アリナ・リップさん「ドンバス」

<https://twitter.com/i/status/1761806965125353787>



https://twitter.com/aosagi_club/status/1761806965125353787?s=09

⑨ロシア、中国、イランが完璧な国だとは誰も主張していない。完璧な国など存在しない(2024年3月8日)

しかし、彼らは現在世界を奴隷化し、psガザで大量虐殺を行なっているグローバルシステムに抵抗している主要国なのだ。

https://twitter.com/2018_apc/status/1765906848132329638?s=09



⑩【アヴデエフカ】(2024年3月8日)

—私たちはドネツクから遠くないアヴデエフカに到着しました。今日の任務は、ウクライナ軍を逃れて地下室に避難していた住民を見つけることです。

いくらかの支援物資を持ってきました。ろうそく、マッチ、水、缶詰です。

現在、町は欠乏状態です。電気も水もありません。

<https://twitter.com/i/status/1765765147988242729>



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1765765147988242729?s=09